



イクコママの乳がん日記 ⑩

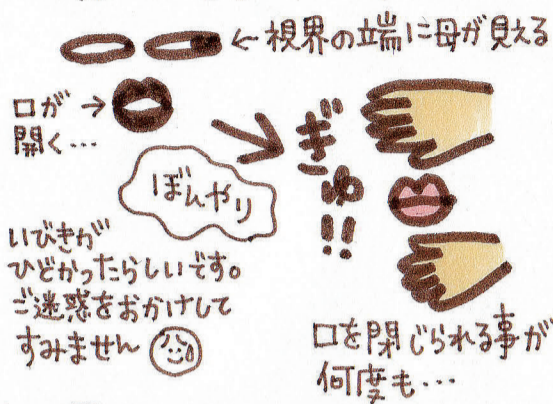
術後に心がモヤモヤ...

リコちゃん(4つ)とゴー君(1歳5カ月)の子育て真っ最中に乳がんが診断されたイクコさん(42)。約半年間の抗がん剤治療を経て、乳輪・乳頭を残す「皮下乳腺切除術」で右胸を切除しました。「後

悔のない治療」を目標に、積極的に乳がんの勉強をし、自分で決めた切除でした。しかし、術後は新たな不安でいっぱいになってしまいました。

(第4週に掲載)

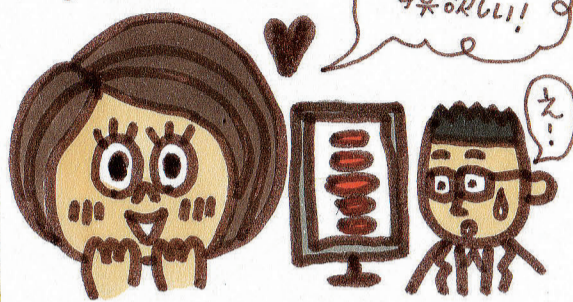
① 手術が終わって目覚めるまでぼんやりしていました。



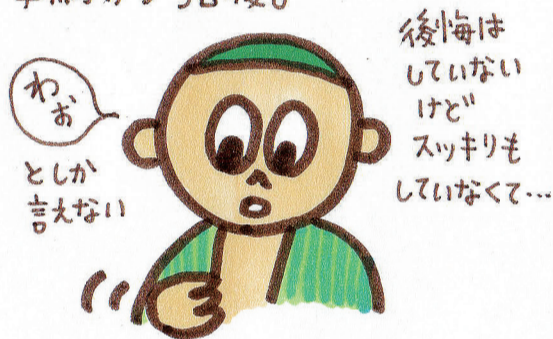
② 手術後すぐに、先生から切除した乳腺を家族に見せながら説明がありました。



③ 後日、診察の時に検査のためぶつ切りになった私の乳腺の写真をとって見ましたか? とてもいとおしかったです。



④ 自分から希望した切除でしたが胸を正面から見たのは手術から3日後。



⑤ ショックだったのは胸がなくなった事よりリンパを予想より切除した事でした。転移の不安が...



⑥ とりあえず入院中はリハビリに専念しました。



「勇気ある決断」で自信

2013年8月

おじいちゃん、おばあちゃんとリコがきた。うれしい! 思わず抱っこしてしまった。「うっ!」。右手にイワカン…。ダンナにも言えない。後で看護師さんに話したら、まずいらしい。これからは気をつけよう。

今日は看護師長さんとお話できた。心のモヤモヤを聞いてもらった。抗がん剤が先で勉強する時間があり、納得して治療したかった。だから先生にいっぱい質問したり、本などで勉強

するけど分かってなかったり…。その中で自分で答えを決める。人のせいにしたくないと思った。でも3人の先生が「温存」って言うてるのに私は「全摘」って、わがまま患者?

そんな気持ちを看護師長さんは聞いてくれて、2人で涙してしまった。でも「子どものために勇気ある決断ですよ」って言われてホッとした。自分で決めて後悔もないのに、自信がなかった。そう、正しい選択なんて分からない。でも自分で納得して決めた。大丈夫。これからの治療もしっかりやっつけていこう。

悩み抱え込まないで

乳がんの手術でリンパ筋切除を行った患者さんは術後、腕がむくむ「リンパ浮腫」に気をつけなければいけません。無理をしてしまうと、むくみが出てしまうのでケアが重要です。また患者さんには、主治医に言えないこともたくさんあるようです。いろいろな職種の人や家族、患者会の皆さんに相談するのはとてもいいことだと思います。やはり悩みは一人で抱え込まず、皆と一緒に解決することが重要ではないでしょうか。泣きたい時には泣き、ストレスも食事会などで解消できたらいいのではないかと考えています。

監修・玉城研太郎医師 (那覇西クリニック 乳腺外科)